



2021年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年8月7日

上場会社名 トレックス・セミコンダクター株式会社 上場取引所 東
 コード番号 6616 URL https://www.torex.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役 社長執行役員 (氏名) 芝宮 孝司
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 執行役員 管理本部 本部長 (氏名) 日笠 基 TEL 03-6222-2852
 四半期報告書提出予定日 2020年8月7日 配当支払開始予定日 -
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第1四半期の連結業績（2020年4月1日～2020年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第1四半期	5,858	22.1	195	148.9	180	-	168	-
2020年3月期第1四半期	4,797	△22.7	78	△88.4	11	△98.8	12	△97.6

(注) 包括利益 2021年3月期第1四半期 181百万円 (-%) 2020年3月期第1四半期 △93百万円 (-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第1四半期	15.47	15.46
2020年3月期第1四半期	1.07	1.07

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期第1四半期	30,838	18,639	60.4	1,708.51
2020年3月期	27,846	18,671	67.1	1,712.30

(参考) 自己資本 2021年3月期第1四半期 18,639百万円 2020年3月期 18,671百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	-	20.00	-	20.00	40.00
2021年3月期	-	-	-	-	-
2021年3月期（予想）	-	16.00	-	-	-

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：有

期末の配当予想につきましては、引続き「未定」としております。今後、合理的な算定が可能となった時点で開示することといたします。

3. 2021年3月期の連結業績予想（2020年4月1日～2021年3月31日）

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	11,400	10.3	220	△33.4	180	△35.5	170	7.8	15.58

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

2020年5月20日に公表いたしました「2020年3月期決算短信〔日本基準〕（連結）」において未定としておりました連結業績予想のうち、第2四半期連結業績予想について公表いたします。

通期連結業績予想につきましては、引続き「未定」としております。今後、合理的な算定が可能となった時点で開示することといたします。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年3月期1Q	11,554,200株	2020年3月期	11,554,200株
② 期末自己株式数	2021年3月期1Q	644,448株	2020年3月期	649,648株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年3月期1Q	10,905,541株	2020年3月期1Q	11,204,489株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における世界経済は、新型コロナウイルス感染拡大の影響により景気の停滞感が鮮明となりました。各国政府による緊急対策としての外出禁止令や移動制限などにより経済活動が抑制され、一部では緩やかに回復の兆しがあるものの、依然として先行き不透明な状況が続いております。

わが国経済においては、約2か月にわたる新型コロナウイルスに関する緊急事態宣言は解除され、足もとでは個人消費の持ち直しの動きもみられるものの、回復には未だ不透明な状況が続いております。

このような環境のなかで、当社グループは、経営理念にある「市場に適応した価値ある製品を創出し、豊かな社会の実現と地球環境の保全に貢献する」ため、電気機器の小型化・省電力化に「電源」の観点から取組み、収益力の強化と持続的な成長の実現に向けて、従業員の感染症対策としてテレワークや時差出勤などを徹底して講じつつ、以下の諸施策を継続的に推進してまいりました。

- ・当社東京技術センター、関西技術センター及び米国R&Dセンターにおいて、差別化のできる高付加価値な汎用製品及びターゲット市場として注力する車載機器・産業機器に向け、より特化した特長ある製品を迅速に市場へ投入していくため開発活動を進めてまいりました。
- ・製品企画段階からのコスト分析の徹底、生産計画の効率化を進めるとともに、グループ内において製造子会社との協力体制を深め、同業他社に比して競争力のある製造コストと納期対応の実現に取り組みました。
- ・近年、様々な視点から注目される省エネ型社会を実現する有効な手段の一つであるパワーエレクトロニクスにおけるビジネスの拡大を目的とし、超低損失と低価格の両立が期待されるβ型酸化ガリウムを使用したパワーデバイスの開発を行う、株式会社ノベルクリスタルテクノロジー（本社：埼玉県狭山市）と資本提携を行いました。
- ・地域に密着した営業活動を継続し、海外販売子会社における営業・技術サポート担当者の充実を図り、顧客の要望や製品企画への迅速かつ柔軟な対応と営業基盤の強化に努めました。
- ・関西技術センターの解析力を活用するとともに、協力工場との一層の関係強化を進め、産業機器や車載製品等のターゲット市場を意識した品質保証体制と各種認証制度への対応を図りました。
- ・グループ収益の最大化につなげるため、フェニテックセミコンダクター株式会社とのシナジー効果を高め、共同プロジェクトを推進しました。
- ・製品の長期・安定供給体制と競争力のある製品づくり及び生産性向上のため、フェニテックセミコンダクター本社工場の第一工場への統合を進めてまいりました。

その結果、当第1四半期連結累計期間の当社グループの業績は、売上高58億58百万円（前年同期比22.1%増）、営業利益1億95百万円（前年同期比148.9%増）、経常利益1億80百万円（前年同期は経常利益11百万円）、親会社株主に帰属する四半期純利益1億68百万円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純利益12百万円）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

①日本

当第1四半期連結累計期間における日本事業は、主に産業機器分野向けの販売が増加したことにより、売上高は43億78百万円（前年同期比35.0%増）、営業利益は1億92百万円（前年同期比178.9%増）となりました。

②アジア

当第1四半期連結累計期間におけるアジア事業は、主に産業機器分野向けの販売が増加しましたが、車載機器等の分野向けの販売が減少したことにより、売上高は11億69百万円（前年同期比6.7%減）、営業利益は33百万円（前年同期比125.3%増）となりました。

③欧州

当第1四半期連結累計期間における欧州事業は、主に医療機器等の分野向けの販売が増加しましたが、デジタル家電等の分野向けの販売が減少したことにより、売上高は1億70百万円（前年同期比1.0%減）、営業利益は15百万円（前年同期は営業利益0百万円）となりました。

④北米

当第1四半期連結累計期間における北米事業は、主に産業機器等の分野向けの販売が増加したことにより、売上高は1億39百万円（前年同期比8.5%増）、営業利益は0百万円（前年同期は営業損失4百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は217億68百万円となり、前連結会計年度末に比べ29億22百万円増加いたしました。これは主に現金及び預金が25億7百万円増加したことによるものであります。固定資産は90億70百万円となり、前連結会計年度末に比べ69百万円増加いたしました。これは主に有形固定資産が49百万円増加したことによるものであります。

この結果、総資産は、308億38百万円となり、前連結会計年度末に比べ29億91百万円増加いたしました。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は71億80百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億37百万円増加いたしました。これは主に1年内返済予定の長期借入金が7億2百万円増加したことによるものであります。固定負債は50億19百万円となり、前連結会計年度末に比べ27億86百万円増加いたしました。これは主に長期借入金が29億72百万円増加したことによるものであります。

この結果、負債合計は、121億99百万円となり、前連結会計年度末に比べ30億24百万円増加いたしました。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は186億39百万円となり、前連結会計年度末に比べ32百万円減少いたしました。

この結果、自己資本比率は60.4%（前連結会計年度末は67.1%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月期の連結業績予想につきましては、新型コロナウイルスによる当社グループ業績への影響を見極めるために未定としておりましたが、最近の業績動向等を踏まえ、上記のとおり第2四半期（累計）の業績予想を公表いたします。

また、4-9月期の業績予想開示に伴い、未定であった中間配当の予想を併せて開示いたします。

なお、通期の業績予想につきましては、新型コロナウイルスの影響を現段階において合理的に算定することが困難であることから未定としております。今後、業績予想の開示が可能となった段階で速やかに公表いたします。

詳細につきましては、本日（2020年8月7日）公表いたしました「業績予想および配当予想のお知らせ」をご参照ください。

上記の業績予想は、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,281,215	11,788,948
受取手形及び売掛金	4,020,517	4,227,313
たな卸資産	5,006,813	5,090,909
その他	540,103	662,017
貸倒引当金	△2,983	△843
流動資産合計	18,845,666	21,768,344
固定資産		
有形固定資産	6,204,524	6,253,549
無形固定資産	801,474	802,533
投資その他の資産		
その他	2,020,976	2,039,883
貸倒引当金	△25,680	△25,437
投資その他の資産合計	1,995,296	2,014,445
固定資産合計	9,001,295	9,070,528
資産合計	27,846,962	30,838,873
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,065,830	1,118,571
短期借入金	2,901,627	2,901,617
1年内返済予定の長期借入金	605,036	1,307,538
未払法人税等	51,380	35,258
賞与引当金	355,975	117,449
その他	1,962,749	1,699,856
流動負債合計	6,942,598	7,180,291
固定負債		
長期借入金	1,142,500	4,115,000
退職給付に係る負債	656,153	651,761
株式給付引当金	53,546	59,318
その他	380,261	192,987
固定負債合計	2,232,461	5,019,067
負債合計	9,175,060	12,199,358
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,967,934	2,967,934
資本剰余金	8,297,198	8,295,102
利益剰余金	8,576,276	8,526,745
自己株式	△788,207	△782,144
株主資本合計	19,053,202	19,007,637
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△145,538	△128,353
為替換算調整勘定	15,011	6,866
退職給付に係る調整累計額	△250,774	△246,637
その他の包括利益累計額合計	△381,300	△368,123
純資産合計	18,671,901	18,639,514
負債純資産合計	27,846,962	30,838,873

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
売上高	4,797,479	5,858,103
売上原価	3,528,203	4,533,496
売上総利益	1,269,276	1,324,606
販売費及び一般管理費	1,190,731	1,129,115
営業利益	78,545	195,491
営業外収益		
受取利息及び配当金	10,371	8,214
ロイヤリティ収入	827	1,088
受取賃貸料	7,578	7,320
その他	2,590	6,543
営業外収益合計	21,368	23,166
営業外費用		
支払利息	6,285	9,851
為替差損	78,589	26,701
支払手数料	2,000	2,000
その他	1,575	95
営業外費用合計	88,450	38,648
経常利益	11,463	180,009
特別損失		
固定資産除売却損	998	1,414
保険解約損	—	11,736
特別損失合計	998	13,151
税金等調整前四半期純利益	10,464	166,858
法人税等	△1,412	△1,925
四半期純利益	11,877	168,783
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△169	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	12,046	168,783

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
四半期純利益	11,877	168,783
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△41,654	17,184
為替換算調整勘定	△64,222	△8,144
退職給付に係る調整額	743	4,136
その他の包括利益合計	△105,133	13,176
四半期包括利益	△93,256	181,960
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△91,799	181,960
非支配株主に係る四半期包括利益	△1,457	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注1)	四半期 連結損益計 算書 計上額
	日本	アジア	欧州	北米	合計		
売上高(注2)							
外部顧客への売上高	3,244,224	1,252,671	171,754	128,829	4,797,479	—	4,797,479
セグメント間の内部売上 高又は振替高	1,394,368	97,274	7,383	9,607	1,508,633	△1,508,633	—
計	4,638,592	1,349,945	179,138	138,437	6,306,113	△1,508,633	4,797,479
セグメント利益 又は損失(△)	69,079	14,999	204	△4,506	79,776	△1,231	78,545

(注) 1. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。調整額△1,231千円には、セグメント間取引消去△1,231千円が含まれております。

2. 当社は、当社の製品を搭載した電子機器等が企画・設計され、実質的に受注を獲得した地域(デザイン・イン・ベース)の売上高を基にした指標も加味して事業戦略上の意思決定を行っております。デザイン・イン・ベースで集計した売上高は以下のとおりとなります。

(デザイン・イン・ベースの売上高)

(単位:千円)

	報告セグメント				
	日本	アジア	欧州	北米	合計
売上高	3,545,140	723,961	304,846	223,530	4,797,479

II 当第1四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注1)	四半期 連結損益計 算書 計上額
	日本	アジア	欧州	北米	合計		
売上高(注2)							
外部顧客への売上高	4,378,955	1,169,211	170,122	139,812	5,858,103	—	5,858,103
セグメント間の内部売上 高又は振替高	1,393,013	91,470	5,521	9,467	1,499,472	△1,499,472	—
計	5,771,969	1,260,681	175,643	149,280	7,357,575	△1,449,472	5,858,103
セグメント利益	192,639	33,796	15,255	961	242,653	△47,161	195,491

(注) 1. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。調整額△47,161千円には、セグメント間取引消去△47,161千円が含まれております。

2. 当社は、当社の製品を搭載した電子機器等が企画・設計され、実質的に受注を獲得した地域(デザイン・イン・ベース)の売上高を基にした指標も加味して事業戦略上の意思決定を行っております。デザイン・イン・ベースで集計した売上高は以下のとおりとなります。

(デザイン・イン・ベースの売上高)

(単位:千円)

	報告セグメント				
	日本	アジア	欧州	北米	合計
売上高	4,583,621	781,298	259,140	234,041	5,858,103